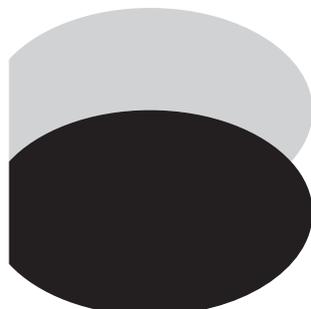


20210330

絵本学会 NEWS No.69

発行：絵本学会
発行日：2021年3月30日
編集：絵本学会広報委員会
絵本学会事務局：〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5
刈谷市美術館内 絵本学会事務局
E-mail office@ehongakkai.com
http://www.ehongakkai.com



絵本学会

第23回・第24回合同絵本学会大会開催のお知らせ
役員選挙について
各委員会からのお知らせ
新入会員の自己紹介
理事会議事録

■第23回・第24回合同絵本学会大会(5月30日)開催のお知らせ■ 大会テーマ | 東日本大震災から10年、コロナ禍での絵本表現を見つめる

■期 日 | 2021年5月30日(日)

■会 場 | 刈谷市総合文化センター4階・5階

〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2丁目104番地

研究発表：401・402研修室、403・404研修室、405・406研修室

作品発表：501～503講座室

ラウンドテーブル：R1=401・402研修室、R2=501～503講座室

総会、表彰式：401・402研修室

■参加費 | 会員・準会員(院生など)：500円 一般：1,000円

*当日、受付でお支払い下さい。

■スケジュール

9:50ー 受付開始

10:30ー12:00 研究発表 (401・402研修室のみ12:30まで)

12:00ー13:15 休憩

13:15ー14:45 作品発表

14:50ー16:50 ラウンドテーブル

16:55ー18:15 総会・日本絵本研究賞表彰式

■ラウンドテーブル(分科会)

[R1] 「3.11後の絵本表現」

会 場 | 401・402研修室

話題提供者 | 長谷川集平(絵本作家・ミュージシャン)

荒井良二(イラストレーター・絵本作家)

コーディネーター | 広松由希子(絵本研究家)

[R2] 「安野光雅 旅の終わりに」

会 場 | 501～503講座室

話題提供者 | 林 綾野(キュレーター)、他交渉中

コーディネーター | 石井光恵(絵本研究家)

■会場への交通案内

[電車]

JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、刈谷駅南口よりウイングデッキ直結徒歩3分

*「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約20分

[車]

伊勢湾岸自動車道豊明ICより約20分・豊田南ICより約25分

*総合文化センター駐車場は、パロー(みなる刈谷)駐車場とは異なりますのでご注意ください。

■主 催 | 絵本学会・刈谷市美術館

■詳細は、同封の大会案内をご覧ください。

■昼食は各自でご対応いただけますようお願いいたします。

□ 問い合わせ先 □

【第23回・第24回合同絵本学会大会事務局】

刈谷市美術館 〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5

E-mail: office@ehongakkai.com FAX: 0566-26-0511

https://www.city.kariya.lg.jp/museum/

★同大会につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、内容の変更、入場制限などを行う場合があります。最新の開催状況を刈谷市美術館ホームページおよびTwitter等で確認の上ご参加ください。

★同時開催

「いきものたちはわたしのかがみ ミロコマチコ」

会 場 | 刈谷市美術館

開館時間 | 9:00ー17:00 *入館は閉館の30分前まで

入場料 | 一般1,000円、学生800円 中学生以下入場無料

選挙管理委員会より

現役員の任期満了にともない、理事選出規則および監事選出規則に従って、2021年2月26日付郵送により来期(2021年度～2024年度)の役員選挙を実施する予定でしたが、理事の候補者が定員の7名であったため無投票になり、全員当選となりました。また、監事の候補者は1名でしたが、辞退されましたので、新理事会があらたに2名を選出し、第24回絵本学会定期総会にて承認を受けることになります。以上、選挙管理委員会(西脇由利子、村田あゆみ、村田康常)よりご報告させていただきました。

〈理事〉

甲木 善久
佐々木 由美子
鈴木 穂波
長野 麻子
藤本 朝巳
丸尾 美保
山本 美希

◎今後の予定

理事選挙の無投票当選者7名による新理事会準備会を開催し、会長、事務局長、各専門委員会委員長、会長の任命による理事3名、監事2名、以上の候補が選出され、5月30日の第24回絵本学会定期総会の承認を経て正式に新理事会が発足します。

日本絵本研究賞運営委員会からのお知らせ

◎第4回日本絵本研究賞・日本絵本研究賞特別賞の選考について

1.応募と第一次選考について

日本絵本研究賞7点(自薦2点、他薦5点)、日本絵本研究賞特別賞4点(自薦1点、他薦3点)の応募があり、日本絵本研究賞運営委員会委員(5名)により第一次選考会を開催しています。新型コロナウイルス感染症への対応の観点から、3月10日(水)を締め切りに、文書による回答方式で選考を行い、選考候補作を決定し、選考委員会に推薦いたします。

2.選考委員について

第4回日本絵本研究賞・日本絵本研究賞特別賞の選考委員が理事会で承認され、以下の通り決定いたしました。

川端 誠(絵本作家)
永田桂子(京都女子大学大学院非常勤講師、絵本・児童文化学)
松本 猛(ちひろ美術館常任顧問、横浜美術大学客員教授、絵本・美術・創作)
水島尚喜(聖心女子大学教授、造形美術教育)
生田美秋(日本絵本研究賞運営委員会委員長・高志の国文学館部長、絵本・児童文化)

3.選考と発表について

4月を目途に選考会を開催して、第4回日本絵本研究賞(日本絵本研究賞及び日本絵本研究賞奨励賞)・日本絵本研究賞特別賞を決定し、絵本学会大会(刈谷市総合文化センター)で発表、表彰式を行います。

日本絵本研究賞運営委員会 委員長 生田美秋

紀要編集委員会からのお知らせ

●絵本学会紀要『絵本学』第24号投稿論文募集について

絵本学会紀要『絵本学』第24号への投稿論文を募集します。なお、下記投稿規程の他に執筆要項があります。原稿は、必ず執筆要項に従って作成してください。執筆要項は、絵本学会ウェブサイトからダウンロードすることができます。あるいは、絵本学会事務局にお問い合わせください。

絵本学会研究紀要『絵本学』投稿規程

◎投稿資格: 絵本学会会員および準会員

2021年8月31日までに会員資格を有していること。

◎内容: 絵本に関する研究論文、研究ノート、論説、報告で、未発表のもの。

【研究論文】研究の視点や手法、理論展開及び結論に独創性や説得力が高く認められるもの

【研究ノート】研究の基礎データになる資料、あるいは理論構築の可能性が認められるもの

【論説】学術的な論で、注目すべき研究・作品・作家・展覧会・活動を取り上げての評論など

【報告】活動紹介や文献紹介など

●掲載採択: 査読に基づき、編集委員が掲載の採否を決定する。必要に応じて編集委員の外に査読委員を依頼する場合があります。採否判定の過程・理由は開示しない。ただし、投稿者は、結果について説明を求めることができる。この場合、編集委員会は申し出の内容を精査の上、適正範囲内で回答する。

●執筆要項: 執筆は別に定める執筆要項に従うこと。

●投稿締切: 2021年9月30日(必着)

●採択通知: 2021年12月15日までに投稿者へ通知する。

●刊行: 2021年度内

●原稿送付先: 絵本学会事務局(郵送とする。FAX、電子メールなどによる送付は不可)

<文章量についての注意>

絵本学会紀要『絵本学』へ投稿を希望される方は、執筆要項をよく読んで、原稿を作成して下さい。特に、文章量にはご注意ください。

絵本学会紀要『絵本学』は第1号以来、同じ書式で作成しています。現在の紀要のページ割では、註・引用文献・参考文献を含め、研究論文は8ページ、研究ノートは6ページ、論説と報告は4ページを原則とします。このうち、はじめの左半ページは、表題、執筆者名、専門分野、和文・英文抄録等の記載に使用します。本文は右半ページからはじめます。

研究委員会からのお知らせ

●2021年度研究助成応募申請要項について

2021年度研究助成についてお知らせいたします。学会員皆様の応募をお待ちしております。応募申請の手順等は以下の通りです。

① 応募資格

2021年度年会費納入済みの絵本学会会員であること。プロジェクト研究の場合は、全員が会員とする。

② 申請書

本『絵本学会NEWS69号』に同封されている「絵本学会2021年度研究助成申請書」に必要事項を記入の上、絵本学会研究委員会宛に郵送で申請してください。または学会のホームページ掲載の「2021年度研究助成応募申請要項」をダウンロードして記入し、絵本学会研究委員会宛のメールに添付して応募することも可能です。

③ 募集の件数および助成金額
合計3件(1件につき5万円の助成)

④ 応募期間

募集開始: 2021年6月1日(火)
締め切り: 2021年6月30日(水)消印有効
メールの場合は6月30日(水)必着

⑤ 結果の通知

2021年7月末日までに研究委員会より研究代表者宛に通知します。

⑥ 研究成果報告書の提出について

研究助成の採択を得た場合、2022年3月末日までに研究成果の報告書をA4サイズ1枚程度(書式、字数は自由)にまとめ、決算報告書を添付の上、研究委員会宛に提出してください。なお、研究成果は、絵本学会大会や『絵本学』での公開を望みます。

【提出方法】

メールの場合: 絵本学会研究委員会 info@ehongakkai.com

*メールタイトルに「研究助成申込」と記載のこと。

郵送の場合: 絵本学会理事改選後の新絵本学会研究委員会(絵本学会ホームページ参照)

*封書の表に「研究助成申込書類在中」と朱書きのこと。また事前に研究委員会宛のメールにて「郵送」の旨の連絡をお願いします。

新入会員の自己紹介コーナー

新井 悦子

初めまして、長崎県佐世保市在住の新井悦子と申します。長崎短期大学保育学科で非常勤講師を勤め、絵本を中心とする「児童文化研究」や「保育内容言葉演習」などを教えています。また日本児童文芸家協会に所属し、絵本や紙芝居などのテキストを書いています。

おもな絵本作品に『きょうはとくべつなひ』(教育画劇)、『いたいのいたいのとんでゆけ』(鈴木出版)、『だいきのしるし』(岩崎書店)、保育絵本に『はなさくもりのケーキやさん』(フレーベル館)、共著に『絵本作家になるには、絵が描けないと無理ですか?』(CATパブリッシング)、翻訳本に『中国のおはなしシリーズ』(ベネッセ)など。絵本の時代性や絵本と国際理解教育との関わりなどに興味があります。新型コロナウィルスでなかなか身動きが取りにくい社会ですが、落ち着いたら全国で開催される学会のイベントなどにも積極的に参加したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

大橋 淳子

はじめまして。このたび入会させていただきました大橋淳子と申します。児童学科の学生時代、絵本に興味をもち、地元の市立図書館での読み聞かせや人形劇を演じる市民ボランティアの会に参加させていただけた時の楽しかった経験が今でも忘れられません。公立の幼稚園教諭として勤務した時には、保育を行っていく上でとても役に立ち、子どもたちへ様々な絵本の読み聞かせをすることができました。現在は、保育者養成校にて学生へ絵本の魅力や読み聞かせの大切さと楽しさ、物的環境としての絵本の活用について伝えていきたいと思ひ奮闘しております。

よろしくよろしくお願いいたします。

坂田 佳美

念願叶い、入会させて頂いた坂田佳美です。安曇野ちひろ美術館で、ブックエンド創刊号を手に入れた頃は、入会者が限定されていると勝手に思い込んでいました。

保育士として子どもたちと30数年、絵本を保育の真ん中に据え楽しんできました。この3月で5歳児と共に卒園(定年)となります。4月からは、短時間保育士として働くことも決まっています。

現在、第7期絵本専門士養成講座を受講中で、今日(2月28日)、終了課題として提出した企画書のプレゼンを終え、5月の認定結果待ちという状況です。

絵本専門士養成講座で、ブックエンドの紹介があり、ホームページで確認したところ、入会に規定がなかったことに気づき、慌てて入会の申し込みをしたという次第です。

絵本作家さんの講演会や絵本美術館巡りがライフワークだった私ですが、コロナ禍の今、学びの場を絵本学会に入会させて頂くことで確保できたらと期待が膨らんでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

中藤 由佳美

はじめまして。山口県在住の中藤由佳美と申します。

日本女子大学・児童学科で絵本について学び、それ以来、自分の子育てをはじめ、保育所や小学校、子育て広場、高齢者施設で絵本の読み聞かせ活動をしてきました。職場では、看護学生に感性や五感を養い、人の気持ちが理解できるよう絵本を活用していました。

現在、大学院で「在宅高齢者に家族が絵本の読み語りを実施した場合の読み手・聞き手への影響」をテーマに研究しています。地域では絵本講師、読書アドバイザー、絵本セラピストで学んだことを活かして絵本講座や絵本セラピーを実践しています。今後は子ども食堂や高齢者学級、認知症カフェ、グリーンケアの場で活動を広げていけたらと考えており、まだまだ絵本について学んでいきたいと思ひ絵本学会に入会しました。どうぞよろしくお願いいたします。

平澤 真年

東京都在住の平澤真年と申します。

この度は絵本学会に入会できたことを嬉しく思います。

学部時代には、『古典作品の絵本化研究(竹取物語を例に)』や『ピーターラビットの日本における受容』について研究をしていました。(後者は卒業論文として)

現在は東京都内において、子ども家庭福祉に携わる傍ら、絵本及び児童文学の書き手として創作活動に取り組んでおります。将来的には物語の作り手として、また絵本の魅力を発見する探求者として絵本に向き合えればと思います。日々学びを深めて参りたいと思ひますので、今後ともどうぞ宜しくお願ひ致します。

三木 麻子

皆さま、はじめまして。三木麻子と申します。

兵庫県神戸市で、保育者養成の「こども学科」のみをもつ神戸教育短期大学の学長です。私の専門分野は日本文学で、平安・鎌倉期の古典和歌や歌学書を読み、和歌の表現や歌論の研究をしています。

絵本との関わりは、保育者養成校での授業やゼミでの絵本研究、図書館の絵本選書を始めたことからです。保育における絵本の重要性を感じるとともに、学生にもっと絵本について学んで欲しいと思っていたところ、絵本専門士養成講座の裾野を広げる、認定絵本士養成講座を大学等で開講できると知り、2020年度から本学での開講にこぎつけました。

絵本専門士さんを含む多くの先生方に講義をいただき、絵本の奥深さを知るにつけ、私自身も絵本を深く学びたく、入会を希望させていただきました。絵画とともに鑑賞された古典作品も多くある中で、私自身の興味としても、絵と文字の表現の相乗効果を考えていきたいと思っています。

安井 素子

今回、絵本学会に入会させていただきました安井素子です。保育園、大学、保育雑誌などで、絵本のおもしろさを子どもから学ぶということ核に、エピソードを交えながら話したり、原稿を書いたり、とつぷりと絵本につかる日々を送っています。愛知に住んでいる私は、子どもの本の専門店メルヘンハウスに通い続けていました。メルヘンハウスも止む無く閉店し、今、時代が大きく変わろうとしている中、子どもたちに絵本を手渡すことの必要性もあらためて感じています。長い保育士生活の中で、絵本の嫌いな子どもに出会ったことはありません。ひとりひとりの興味関心に絵本はいつも答えてくれていました。迫ってくるものを片づけることが精いっぱいの日々に少しゆとりができたので、様々な視点、角度から絵本を見つめ直してみたいと思っています。そして、多くの人の思いが詰まった1冊の絵本が、ちゃんと子どもたち手に渡るために自分ができることを模索していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

絵本学会理事会報告

◎2020年度理事会メール審議録10

日 時：2020年12月11日(金)発信

回 答：澤田精一(会長) 松本育子(事務局長) 今田由香
佐々木由美子 藤本朝巳 長野麻子 鈴木穂波
生田美秋 丸尾美保 甲木善久

◆審議事項

1 緊急声明の転載許可について

人文社会系学協会連合連絡会より『私たちは学術会議の任命拒否問題に抗議する』(仮)(論創社)の出版にあたり、3学会合同で提出した「日本学術会議第25回新規会員任命に関する緊急声明」の転載許可申請があった。審議の上、書籍への転載が承認された。ただし、3学会合同で提出したもののなので、澤田会長が日本児童文学学会、英語圏児童文学学会の意向を確認した上で、最終的な判断を行う。

◎2020年度理事会メール審議録11

日 時：2021年1月9日(土)発信

回 答：澤田精一(会長) 松本育子(事務局長) 今田由香
佐々木由美子 藤本朝巳 長野麻子 鈴木穂波
生田美秋 丸尾美保 甲木善久

◆審議事項

1 選挙管理委員会について

事務局より選挙管理委員について、以下の3名を任命することが提案され、承認された。

西脇由利子(絵本研究家)
村田あゆみ(名古屋女子大学准教授)
村田康常(名古屋柳城女子大学教授)

◎2020年度理事会メール審議録12

日 時：2021年2月2日(火)発信

回 答：澤田精一(会長) 松本育子(事務局長) 今田由香
佐々木由美子 藤本朝巳 長野麻子 鈴木穂波
生田美秋 丸尾美保 甲木善久

◆審議事項

1 入退会者について(2020年12月28日～2021年1月30日)

以下の新入退会者(敬称略)が承認された。

入会者：平澤真年 安井素子(払込日順) 計2名
退会者：西坂小百合 坂部豪 神山泰治 村岡益子 齋藤正人
平松範子 趙静一 本谷宇一 松本有一 堀内恵子
増山初子 計11名



イラスト：井之口真央

◆報告事項

1 以下の通り、後援依頼があった。

- ・ちひろ美術館・東京
没後1年 田畑精一『おしいれのぼうけん』展
(2021年3月16日～6月13日)
- ・安曇野ちひろ美術館
生誕111年 赤羽末吉展 絵本への一本道
(2021年3月1日～5月30日)
- ・ちひろ美術館・東京
生誕111年 赤羽末吉展 日本美術へのとびら
(2021年6月19日～9月26日)

2 第25回大会会場について

白百合女子大学大会候補の取り下げ依頼があった。

◎2020年度理事会メール審議録13

日 時：2021年2月13日(土)発信

回 答：澤田精一(会長) 松本育子(事務局長) 今田由香
佐々木由美子 藤本朝巳 長野麻子 鈴木穂波
生田美秋 丸尾美保 甲木善久

◆審議事項

1 2021年度絵本研究助成について

研究委員会・丸尾委員長より、2021年度絵本研究助成応募申請要項および応募申請用紙について提案があった。6月に事務局が新体制になることを踏まえ、申請の時期や応募先について再考を求める意見が出された。

2月17日、丸尾委員長より、修正案が提出され、審議の結果、承認された。

2 日本絵本研究賞選考委員について

日本絵本研究賞運営委員会・生田委員長より、下記の5名が会長より指名されたことが報告され、提案通り承認された。

- 川端誠(絵本作家)
- 永田桂子(京都女子大学)
- 松本猛(ちひろ美術館)
- 水島尚喜(聖心女子大学)
- 生田美秋(日本絵本研究賞運営委員会委員長)

◎2020年度理事会メール審議録14

日 時：2021年3月4日(木)発信

回 答：澤田精一(会長) 松本育子(事務局長) 今田由香
佐々木由美子 藤本朝巳 長野麻子 鈴木穂波
生田美秋 丸尾美保 甲木善久

◆審議事項

1 緊急声明の転載許可について

法政大学の公認団体「法政大学新聞学会」より、3学会合同で提出した「日本学術会議第25回新規会員任命に関する緊急声明」について転載の許可申請があった。審議の上、転載を許可することとなった。

編集後記

・今号が、現広報委員会のメンバーで発行する最後のNEWSになります。3年前に現在のメンバーになり、学会NEWSを情報発信だけではなく、会員の交流の場にできたらと、試行錯誤でとりくんできました。うまくいかなかった面も多々ありますが、たくさんの方にご執筆いただき、3ヶ月に一度NEWSを発行することができました。これもみなさまのご協力のおかげです。ありがとうございました。

(佐々木由美子)

・任期中に日本絵本研究賞の見直し案を議論に議論を重ねて作成し、第4回日本絵本研究賞・同特別賞の募集から第一次選考、まもなく本選考というところまで漕ぎつけることができホッとしています。理事の任期を終え、バトンタッチをしますが、絵本と絵本学、絵本学会の発展のために、会員という立場で引き続きサポートをさせていただきます。ありがとうございました。

(生田美秋)

・新型コロナウイルスと共存していく生活が日常となりました。春になって緊急事態宣言も解除されましたが、変異株による感染の再拡大も懸念されています。そんな中、東京オリンピックが開かれるのかどうか気になります。中止したほうが良いのではないかという気もいたします。開催されるにしても、どのような形になるのか不安です。一般の人々に対するワクチン接種が始まるまでもうしばらく時間が掛かりそうですから、それぞれ体調管理に気をつけて辛抱強く対応していくかなさそうですね。お互い頑張りましょう。

(甲木善久)

・いつの間にか四季が過ぎ、また春です。

お話を伺いたい、近況を知りたい、思いを伝えたい…時がすぎてしまう前に、今、コミュニケーションを取ることの難しさと大切さを深く胸に感じています。

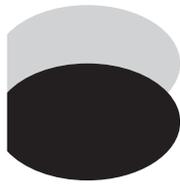
NEWSの発行がその一助となることを願っております。

3年間広報委員として携わせていただき、みなさまにご協力いただき本当にありがとうございました。

(宮崎詞美)



イラスト：井之口真央



絵本学会